NADPZ

JUNE NEWSLETTER



菜園に成功した新たな女性農民クラブ

ザンビア自然農法開発計画(NADPZ)の目標の1つは、ザンビア及びアフリカの他の地域へ活動を拡大することです。自然農法はグープとして活動に参加し管理することで女性農民として、また彼女らの農業事業、そしてNADPZプロジェクトを成功に導くことができると信じているからです。

NADPZは毎年、他の場所や近隣地域の女性農民クラブから、自然農法を取り入れたいとの要請を受けています。 昨年、ペンバ地区のムニョニ女性農民クラブに向けて自然農法菜園のトレーニングを行いました。1年後、私たちは彼らの菜園を再訪し、菜園はよく管理されてうまく運営されているのを確認できました。

クラブには合計15人の会員がおり、各会員は菜園の世話、収穫、農産物の販売を担当しています。 このクラブでは彼らのビジネスがゆっくりと成長していると言います。そして菜園からの収入はクラブの活動に役立てられています。彼らは年に3回野菜を育てており、メンバーたちは、一緒に働き、クラブの菜園をうまく成長させてゆくことで、クラブが個々の家族を助けることができると感じています。





ピーナッツバター作り研修

NADPZは、農家が世帯の地位と収入を向上できるようにするバリューチェーンの構築を目指しています。 現在、NADPZと民間部門および政府との間で農産物供給契約の締結に向けてパートナーシップ構築に取り組んでいます。 ほとんどの場合、小規模農家は、需要を満たすのに十分な農産物を栽培できないため、契約を結ぶことができません。 NADPZは、団体組織と農民たちの協力体制を通じて、さまざまなコミュニティに自然農法作物を供給することを目標としています。

落花生として知られるピーナッツは、ザンビアで非常に高額で販売されている高価値の食品であり、ザンビアの伝統食の主成分としても使用されています。

収入を向上させるモデルの一部として、NADPZは、さまざまなパートナートレーナーの助けを借りて、農家の生活を改善するのに役立つバリューチェーン製品を作成するための農民の教育と訓練を支援しています。

今月は、コミュニティ開発責任者の助けを借りて、4つの異なる協同組合から4人の女性メンバーがNADPZプロジェクトサイトでピーナッツバター作りのトレーニングを受けました。 彼女らが使用した機械は、3年前に地域開発大臣から寄贈されたものです。

通常、農村地域では、ピーナッツバターが作られると、農家は弁当箱やプラスチック容器を手頃な価格のパッケージとして使用して、地元の人々にピーナッツバターを販売します。 彼らは主に隣人や友人に販売しているので、この方法で問題はありません。

NADPZは、パッケージングとラベリングの段階をトレーニングに追加することにより、このバリューチェーンの改善を目指しています。これにより、農家は、地元の小さな町チョマで、中小企業や顧客が購入できる、より優れた魅力的な製品を生産できるようになります。

彼女たちがピーナッツバターの製造技術を向上させ、高水準の製品を生産することに成功すると、彼女等はNADPZのピーナッツバタートレーナーとして、他の女性農民クラブでのトレーニングを実施する予定です。







新しい先生とその家族が マウォファ (マンボウ女性農民組合) の学校に定住

2年前にモンゼの教育省地区教育委員会の事務所に2人目の教師を申請した後、マウォファの生徒、保護者、コミュニティは、2021年1月末にようやくクリスピン・ムボジ教師を迎えることができました。

クリスピンの学校への到着は、マウォファ・コミュニティースクールが、 その将来への発展と、またマンボ区の農村コミュニティの教育センターと 希望の場所となるための正式な学校として認識されたということを示すも のでした。

クリスピンは経験豊富な教師であり、彼はミケロ小学校に3年間在籍、その後マアンボ小学校に3年間、そしてマウォファ・コミュニティスクールへの赴任となりました。

PTAは、彼をとても元気で陽気なキャラクターで、子供たちを笑わせ、クラスを楽しくエキサイティングなものしてくれると紹介しています。 彼は本当に子供たちの関心と心を捉えました。

ここに来る前、クリスピンは農民であったことはなく、常に教師であることに集中していたと言います。彼は、この学校に赴任して数か月間、学校菜園の活動に参加し、収穫のトレーニングをしている女性農民たちと一緒に過ごした後、農業を試みたいと思うようになりました。そして農業を実施するために村長に小さな農地をいただけるようお願いしました。女性組合の責任者は何種類かの野菜の種を分けてくれ、PTAメンバーは次の種まきシーズンには彼に自然農法トウモロコシの種を与えることを申し出てくれました。

彼の妻と子供も落ち着き、地域社会で幸せにしています。 彼の妻もまた 自然農法実施を決意し、女性農民クラブの1つに参加しました。







農民紹介 ― 施設管理責任者、メシー・ムンサカ

私は、両親の故郷であるムパンザ区にある村を何度も訪ねていた子供の頃から、メシー・ムンサカさんのことは知っていました、しかし本当の意味で彼女を知るようになったのは何年も後の2005年になってからです。悲劇的な自動車事故で母が亡くなった後、2004年にムババラ女性農民組合(MBAWOFA)を引き継いだとき、私は彼女に再紹介されました。メシーはMBAWOFA実行委員会の一人であり、ハンチムナ組合の非常に活発で情熱的なメンバーでした。

2006年にメシーの亡き夫である上級村長カベタ氏がMBAWOFAプロジェクトに100ヘクタールの土地を提供してくれたとき、彼はこう言いました、「この土地をどうぞ、このコミュニティを変える遺産を築くための土地です。そして私はあなたをサポートするためにここにいます!」その後、カベタ上級村長が再び私のところに戻ってきて、4人目の妻メシーに土地の管理人をさせたいと志願して来ました。彼がこのプロジェクトを信じたのは私の母のおかげだが、彼の妻の参加、彼女の組合への愛とエネルギーを見て、このプロジェクトの将来を信じると彼は言いました。

メシーと彼女の7人の子供たちは、2006年6月に当時何もなかったMBAWOFA の土地に引っ越してきて、私たちが彼女の家の建設を完了するまで、彼女たちは草の小屋に住んでいました。 彼女の家、貯蔵庫、屋外キッチンの建設、そして初めての自然農法ショーの準備を通して、私はメシーは頭の中がきちっと整理され、厳格な性格であることを発見しました。 建築材料を保護・管理し、さまざまなチームをしっかりと管理・運用する手法は、私を驚かせました。 私は彼女の責任者としての手順と管理スタイルを見て、彼女が教育分野か或いは会社のマネージャーとしての立場に居たならば成功していたに違いないといつも思っていました。

彼女の厳しい管理スタイルにもかかわらず、メシーはコミュニティの女性たちから非常に尊敬されています。彼女は表面の厳しいマネージャーとしての内側に、人を引き入れる大きな母性も持ち合わせていました。 メシーは過去15年間にわたって土地とそこに関わるメンバーたちへの剛柔両面のお世話で、すべての人の尊敬と愛を獲得してきました。

彼女の自然農法への献身は計り知れません。彼女は何百人もの農民に、あなたが自然農法を堅持すれば人生を変えることが出来ると何度も伝えてきましたし、彼女は子供たちに教育を受けさせたことでそのことを証明してきました。 子供たちもまた農作業を手伝い、彼らが学校に行くための資金調達の一部にもなっていました。

ありがとう、そしておめでとう、メシー!



自然農法ショー委員選出

私たちの毎年恒例の自然農法ショーは、参加者すべての人々それぞれに何らかの形で得るもののある、外せないイベントの一つになっています。私たちは、自然農法と私たちの文化を祝うために、2006年にこのイベントを開始しました。 3日間のイベントでは、近隣のコミュニティ、区、その他の地区から何千人もの人々が集まり、それぞれの経験や情報を共有するための楽しい有益な場を提供します。

過去13年間、女性メンバーが集まり、ダンス、歌、料理、スポーツ、農業展示の設置、自然農法についてのコミュニティメンバーへの教育活動などが行われました。 ショーには、村長、チーフ、市長、地区コミッショナー、大臣などのVIPゲストも参加しました。 また、秀明会員の皆さんや秀明の若者たちがショーに参加し、コミュニティの人々に素晴らしい心温まる太鼓の演奏と日本の野菜カレーを振舞ってくれたこともありました。

新型コロナウイルスの大流行により、前回の自然農法ショーが開催されてから2年が経ちました。 私たちは第15回自然農法ショーの準備を始め、女性農民たちは組合のリーダーとメンバーの中からショー委員の選出を始めました。

現在ザンビアでは、感染数が増加しており、アフリカで最も感染率の高い国に分類されており、ロックダウン状態にあります。 農民組合は、この状況が改善し、自然農法ショーが8月末に予定通り実施されることを期待しています。

彼らは、ウイルスが自分たちの生活や地域社会にもたらしたストレスとプレッシャーを終えて、前向きで希望に満ちた再会ができることを楽しみにしています。

8月のニュースレターで自然農法ショーについてお伝えできるように願っています。





